

<テーマ>教師が自力解決場面で児童の考えを的確に捉え、その後の学び合いを活性化させる取組

(登米市立佐沼小学校)

【6年「比例をくわしく調べよう」】

○自力解決の場面で児童の考えを教師が捉えるための具体的な取組

- * T : 「式や表を使って解きましょう。早く終わったら説明を書いたり、別の方法で解いたりしましょう。
- ・自力解決の際は、本時の説明に関わる「算数用語」を学習コーナーに掲示しておく。
- * C : 「一枚の重さを求めて解いてみよう。」「比例の性質を使ってみよう。」「決まった数を求めてみよう。」「難しくて分からない。」
- ・考えをまとめることができない児童には、表に書き込みをさせたり、学習コーナーで既習事項を想起させたりする。
- ・教師は、机間指導を行いながら児童のノートをタブレットで撮影し、集団解決での意図的指名を行ったり、児童の考え方を集約したりするよう役立てる。
- ・本時の学習課題が答えを求めることではなく、【10枚の重さから300枚を用意する方法を考えよう】であることから、答えが2190gであることは、この場面で確認しておく。

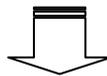
○学び合いを活性化するための具体的な取組

〈ペア〉

- ・ペアで考えを説明させる際は、自分の考えを整理させたり、自分の考えと比較したりできるように、説明し合う観点を明確にする。
- ・友達の考えを聞いて大切だと思ったところや使っていた決まりなどをノートに記録させる。

《全体》

- ・大型モニターにタブレットで撮影したノートの画像を写し出し、モニターの前で本人に説明させる。説明させる際は、算数用語の活用を促す。
 - ・説明した画像は、事前にA3でプリントアウト（より多く思考する時間や学び合いの時間を確保できる）しておき、黒板に掲示する。
- *タブレットや大型モニター、A3プリンターを活用し、複数の解法や比例の決まりを提示することにより、解法の比較や解法と比例の決まりとの関連付けを行わせる。



1/3 画用紙300枚を全部数えないで用意する方法を考えましょう。

画用紙の枚数が増えると
重さ → 10枚で73g
高さ

① 10枚の重さから300枚を用意する方法を考えましょう。

比例のきまり

枚数(枚)	10	300
重さ(g)	73	

表式

②

枚数(枚)	10	300
重さ(g)	73	2190

1枚の重さを求めて

③

枚数(枚)	10	300
重さ(g)	73	2190

表を横に見て

A 2190g
→ およそ300枚になる

比例のきまりで求められる

④

比例のきまりを使うと、一部分の枚数と重さから、全体のおよその枚数を用意することができます。

① くぎの本数と重さ

本数(本)	20	400
重さ(g)	32	

400 ÷ 20 = 20 20 × □ = 32
32 × 20 = 640 □ = 32 ÷ 20
A 640g = 1.6
400 × 1.6 = 640
A 640g